

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年09月15日

計画の名称	羽曳野市流域関連公共下水道事業計画（その３）													
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度（５年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	羽曳野市													
計画の目標	公共下水道汚水整備を行うことにより、衛生的で快適な生活環境の改善を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		2,495	A	2,483	B	0	C	12	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0.48	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	汚水管の整備により、下水道処理人口普及率を86%（R2）から89%（R6）に向上させる。			
	下水道処理人口普及率(%)	86%	87%	89%
	下水道処理区域（人） / 行政人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	管渠（ 汚水）	新設	今池処理区他污水管渠	污水管 φ200 L=6.2km、実 施設計	羽曳野市	■	■	■	■	■	2,465		-
	A07-002	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	管渠（ 汚水）	新設	下水道情報デジタル化事 業	施設情報のデータ整備	羽曳野市				■	■	18		-
											小計						2,483		
											合計						2,483		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	羽曳野市	間接	個人	管渠（ 汚水）	新設	水洗便所改造補助事業（ 市内一円）	水洗便所改造補助	羽曳野市			■	■	■	12		-	
		基幹事業（A07-001）である污水管の整備と一体的に行うことにより、公共下水道未接続家屋の普及促進を図る。																		
												小計						12		
											合計						12			

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

羽曳野市下水道部下水道建設課にてパブリックコメントを実施

事後評価の実施時期

令和 8 年 2 月

公表の方法

羽曳野市のホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

汚水整備事業により下水道整備区域を拡大し、衛生的で快適な生活環境の改善が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

次期計画「羽曳野市流域関連公共下水道事業計画（その４）」を策定し、衛生的で快適な生活環境の改善に取り組んでいく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率（％）		
	最 終 目標値	89%	狭隘道路や地下埋設物の輻輳により整備が困難な箇所が多く存在したことに加え、私道において地権者の承諾が得られず事業を進めることができなかったため、目標値を下回った。
	最 終 実績値	86%	